

令和元年度 第1回学校評議員会 会議録

1 日時・場所 令和元年7月9日(火) 15:30～16:30 応接室

2 出席者 学校評議員 鈴木 祐治(四国職業能力開発大学校 学務課長)
橋田美穂子(多度津町立多度津幼稚園 園長)
職員 校長、教頭(3)、主幹教諭、教務主任

3 主な内容

(1) 学校からの説明

- 平成30年度学校評価について ①自己評価(活動報告)
- 令和元年度学校評価について ①自己評価(活動計画) ②学校評価関係年間計画
③公開授業アンケート結果
- 本年度の取組について ①全日制 ②定時制

(2) 学校評議員からの質問・意見等

(委員) 現在在籍園児が減少しており、行事の時に人手が足りない。多高生のボランティアは本当にありがたい。生徒達はみんな優しく積極的に取り組んでくれている。また、(定期試験の時だと思うが)園児が散歩をしている時に、「こんにちは」「気をつけてね」と声をかけてきてくれた。当たり前前の方が当たり前前できていることに人間的な成長を感じる。

(学校) 園児と接しているときの生徒たちの表情は校内にいる時とは異なっている。「何かしてあげたい/してあげなければ」という気持ちが生徒を成長させているのだと思う。幼稚園との交流を通じて本校の生徒も成長させてもらっており、こちらとしてもありがたい。

(委員) 公開授業の保護者のアンケートが気になる。学校として、アンケート結果を受けてどういったことができるかと考えているのか。

(学校) 5月の公開授業はこれまで4時間目のみの参観授業とし、主に担任の授業を観ていただいていたが、今年から1～4時間目を公開授業としたことで、より普段に近い授業の様子を観ていただいた。その結果マイナスの意見も増えはしたが、現実として捉え、改善していきたい。

(委員) 本校では、就職率よりも、4年後の定着率を気にしている。約80%だが、離職した2割をどうみるか・・・。

(学校) 学科にもよるが、本校の3年後の離職率は20%を少し超えるくらいだと思われる。企業からは、他校よりは定着率はよいとの評価をいただいている。インターンシップ時の巡回やJSTの企業訪問等が実を結んでいると考えている。

(委員) 就職においても、本人より親の気持ちが大きく影響し、親に言われたからと選んだ会社を結局やめてしまうということを危惧している。親の気持ちを察することがこれからの学校には必要であるように思う。いじめも、親との話し合いで、先生方も大変だと思う。

(学校) いじめについて言うと、本校は、入学から卒業までクラス替えがないという事情もあり、特に気を遣う。

(委員) 臨床心理士のような方は学校にはいるのか。

(学校) スクールカウンセラーと、スクールソーシャルワーカーが1名ずつ、週に1回来校している。時間調整が必要なほど相談は多い。3分の1ほどは保護者からの相談である。

(以上)